

## 教科目名 地域日本文学 (Regional Japanese Literature)

学科名・学年 : 全学科 4 年 (教育プログラム 第 1 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 1 単位 (前期 1 コマ, 授業時間 23. 25 時間)

担当教員 : 相本正吾

授業の概要			
大分県を舞台とした, または, 大分県の人を書いた古今の文学作品(随筆・小説・和歌短歌・俳諧俳句・紀行文・漢文漢詩)を読み, その読解・鑑賞と, その内容に関する文章作成や意見交換を行う. それらの文章に触れていくことを通して, 地元大分への関心や理解を深める. 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・評論用語・文芸用語の学習やテストを授業及び定期試験で行い漢字・語句の力を身につける.			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (G1), JABEE 目標 (a) (g)	
(1) 大分に関わる古文・漢文・現代文に親しみ, 本文や内容の読解と理解の基礎力・応用力, 物事を多面的に捉えて考えていく力を身につける. (プリント・定期試験)			
(2) 古文・漢文・漢詩の読解の基礎力を身につける. (プリント・定期試験)			
(3) 文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける. (プリント・提出課題・発表)			
(4) 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・語句・用語の力をつける. (プリント・定期試験)			
回	授業項目	内 容	理解度の自己点検
1	ガイダンス, 俳句(1)	○ガイダンス. 大分に関わりのある近現代の俳句を読む.	【理解の度合い】
2	和歌(1)	○大分のことを詠んでいる万葉集の中の和歌を読む.	
3	随筆(1)	○大分のことに触れている近現代の随筆を読む.	
4	小説(1)	○大分を舞台としている小説を読む.	
5	〃	〃	
6	紀行文(1)	○大分を訪れた江戸期の紀行文を読む.	
7	短歌(1)	○大分に関わりのある近現代の短歌を読む.	
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	中間試験の解答と解説 俳諧(1)	○大分に関わりのある江戸期の俳諧を読む.	【理解の度合い】
10	随筆(2)	○大分のことに触れている江戸期の随筆を読む.	
11	漢文(1)	○大分に関わりのある江戸時代の漢文を読む.	
12	漢詩(1)	○大分に関わりのある江戸時代の漢詩を読む.	
13	紀行文(2)	○大分を訪れた近現代の紀行文を読む.	
14	随筆(3)	○大分のことに触れている近現代の随筆を読む.	
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	期末試験の解答と解説		
履修上の注意		そのつど渡すプリントを A4 版のファイルに綴じて学習を行う.	
教科書		授業でそのつど渡すプリントをテキストとする.	
参考図書		特になし.	
自学上の注意		あらかじめ渡したプリントは予習しておくこと. 授業中, 及び, 遅くともテキストの提出までに「各人の解答」は完成させておくこと.	
関連科目		日本語表現法, 現代文	
総合評価		達成目標(1)~(4)は定期試験, テキストの提出で評価する. テキストの提出(計 4 回)とその評価を課題点とする. 総合評価=2 回の定期試験の平均点×0.8+課題点(20 点満点). 総合評価が 60 点以上を合格とする. 再試験は総合評価が 60 点未満の者に対して実施する.	
			【総合評価】 点